

2. 令和3年度 トピックス

◆ 新型コロナウイルス禍における図書館サービス

令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、図書館サービスの提供に取り組んだ。4月25日に大阪府に緊急事態宣言が発出され、同日より5月11日まで臨時休館としたが（その後、6月20日まで延長）、予約資料の受け渡しのほか、新規登録、パスワードの発行および、電話や図書館Webサイトによるレファレンスをおこなった。

8月2日から9月30日までの緊急事態宣言期間では臨時休館することなく、換気や機器などの消毒、座席数制限や集会室利用の制限、マスク着用など利用者に感染防止対策について協力を依頼した。

令和4年1月27日から3月7日までのまん延防止等重点措置適用時には感染防止の対策を取りつつ、利用者にマスク着用・手指消毒、混雑時を避けての来館の協力を求めた。

他部局への応援として保健所での感染者への電話による聞き取り調査・情報整理作業などへ職員が出向いた。

不要不急の外出自粛が求められる中での新規サービスとしては、図書館Webサイトでの利用者カードの仮登録を開始した。また同サイトによる情報提供、「『新しい生活様式』で好奇心をつなぐ自宅から使える／楽しめるウェブサイト」の更新、リモートによる一部事業を実施。さらにスライド版図書館見学（DVD）の改訂をおこない、エリアにある図書館の特色を紹介したスライドに加え、新たに動画を導入するなど工夫改良し、各小学校への次年度配布に向けて準備をおこなった。

日付／国・自治体の動き	図書館運営状況
【大阪府を含む】 4月7日 医療非常事態宣言	
4月23日 緊急事態宣言発出（4/25～5/11）	4/25～5/11 臨時休館（予約資料の受け渡し、新規登録、電話や図書館Webサイトからのレファレンスなどは実施）
5月7日 緊急事態宣言 5月31日まで延長（同月28日には6月20日まで期間延長とされた）	～6/20 上記サービスを継続
6月21日 緊急事態宣言解除 8月1日までまん延防止等重点措置適用	6/21～ サービスを制限して開館（館内資料の貸出再開。館内での閲覧など滞在につながる利用は不可） 7/1～ 段階的にサービスを拡充（館内滞在1時間以内での利用を呼びかける）
7月30日 緊急事態宣言発出（8/2～8/31）	8/2～ 館内滞在30分以内を呼びかける。集会室利用は20時まで
8月17日 緊急事態宣言 9月12日まで延長 その後9月9日には9月30日までの再延長となる。	8/25～ 時間枠は設けず、できるだけ短時間での利用を呼びかける（座席利用・滞在利用等は不可）
10月1日 緊急事態宣言解除 まん延防止等重点措置には移行せず	10/1～ 座席利用や滞在利用などを再開、集会室利用を用途や利用人数を制限して再開 11/1～ 国立国会図書館の歴史的音源の利用等再開（岡町図書館参考室・千里図書館）
令和4年1月27日～2月20日（2/18には3/6までの延長、さらに3/21までの延長決定）大阪府内 まん延防止等重点措置適用	「まん延防止等重点措置に基づく図書館からのお知らせ」として図書館では感染防止対策を講じて開館をしていること、また利用者に向けて手指の消毒やマスク着用の協力を依頼する内容のポスターを掲示。3/22以降は「図書館からのお知らせ」として同内容を継続してポスター掲示

◆ (仮称) 中央図書館基本構想の推進

社会変化を見据えた今後の図書館サービスの方向性や(仮称)中央図書館を中心とした新たな図書館網の構築について方針を示すため、令和3年2月に「豊中市(仮称)中央図書館基本構想」を策定した。令和3年度には同構想に基づき、サウンディング型市場調査を実施した。また、「これからの公民学連携と図書館について」をテーマに図書館関係団体向け勉強会を開催した。(23 ページ参照)

◆ ICT新サービス「Web 仮登録」「スマホに利用者バーコード表示」開始

Web 仮登録システムを導入し、新規の利用登録申請をオンラインでも可能にした。図書館 Web サイトで利用者自身が情報を入力して仮登録する。同時に仮パスワードが発行されるので本登録前に資料の予約をすることも可能になった。市民対象、10月開始。

また新たに利用者バーコード表示機能を導入した。図書館 Web サイトでログインして利用者カード番号のバーコードをスマートフォンの画面に表示させると、日常の利用時に利用者カードの代わりとして使用できる。12月より開始した。



Web 仮登録申請は図書館 Web サイトから



スマートフォンを利用者カードの代わりに使える

◆ 岡町図書館 「予約資料受取コーナー」開設

岡町図書館では7月より2階貸出室に「予約資料受取コーナー」を開設。セルフ返却機も設置し、資料の返却から予約資料の受け取りまで、セルフでの手続きが可能になった。コーナー開設後は、職員が状況に応じて利用者サポートに入る体制で、資料提供の効率性を高めるとともに来館者への丁寧な利用案内につとめた。資料点検による休館中も同コーナーを開放し、4日間で270人582点の貸出につなげた。